

幼児期から学ぶ英語

使える英語力は好きになることから



2020年から、小学5〜6年生で英語が正式教科となる。500人の塾生が学ぶ友学園(原田恒徳代表・守口市佐太東町)は、英会話スクールも開設し、子どもたちが、ゆつたりとした空間で英語に触れ合い、楽しみながら英語力を高めている。幼児期から英語を学び、未来へ大きく羽ばたこうとする友学園OGと現役生に聞いた。



英語の小・中・高一貫教育 グローバル社会へ対応

文部科学省は、小中学校の次期指導要領を2020年度以降に円滑に全面实施するために、18年度から一部教科の移行措置を公表している。「聞く・話す」中心の外国語教育では新たに小学3〜4年生で年15こま(1こま45分)実施し、5〜6年生は現在の35こまに15こまが追加され、簡単な表現でやりとりする能力を身に付ける活動を行う。中学では、コミュニケーション能力を育む学習が重視され、高校では、スピーチやディスカッションなどを取り入れて自分の考えを英語で伝える。

一方、2020年以降に現行の大学入試センター

試験に代わり新たに実施する「大学入学共通テスト」では、英語の「話す・聞く、読む・書く」の4技能が全面的に民間検定試験が活用される。英検やTOEICなどから水準を満たすものをセンターが認定し、各大学が活用、各大学の基準で評価が行われる。23年度までは、各大学が検定試験と共通テストのいずれかを採用するか、両方を活用するかを決める。文部科学省は、英語の小・中・高校の一貫教育を通じ、急速に発展するグローバル社会に対応できる人材育成を推進する方針だ。



取材協力/友学園
ジャガータウン教室 守口市佐太東町2-9-10ジャガーイースト3階 電話06(6905)3913
菊水教室 守口市菊水通2-19-1菊水第2ビル2・3階 電話06(6995)1235
寺方高瀬教室 守口市南寺方北通1-3-3 電話06(6997)1559



リスニング力に自信 スピーチコンテストに挑戦

同志社香里高校2年
高司 空さん

2歳のときお母さんに連れて来てもらい、ネイティブの先生に魅力を感じてキッズイングリッシュに通い、英会話は今も続けています。塾にも高校受験対策で中1〜3年まで通いました。中学2年のとき、英検2級を取得し、友学園が生活の一部でした。幼児期は歌って踊って遊ぶ感覚。ひたすら楽しい。長文をみても小さいときからやっていたので、たじろくことはありませんでした。学校の試験でも英語は安心して点がとれました。

カナダに初めて3週間、ホストファミリーのもとで留学しました。友学園で実際に使う英語を学んでいたものでリスニング力には自信がありました。現地でも、早口でコミュニケーションしても何を言っているのかよく理解できました。カナダ人はいろいろな文化の人がいる。いろいろな文化が混ざっている。カナダの文化、興味あることを教えてくれました。リスニング力があってたのでホストファミリーのやさしい人柄にふれられてよかったです。これからは自分の意見を述べるスピーチコンテストにも挑戦したい。今も友学園のレッスンは楽しい。英語を学ぶと世界の人とつながりが持て、自分の可能性が広がるのがいと思います。



神戸市立外国語大学1回生
小倉 梨奈さん

センター試験 英語は満点 国際派を目指す

シャイな子どもだったのが母が友達をつくる一環で、2歳のときからキッズイングリッシュに通わせてくれました。中学3年で英検2級を取得し、今では英語力を生かして塾の講師をしています。

英語力をつけるには、私の実体験からはいきなり学問的にやるのではなく、日本語をしゃべるように楽しみながら始めたほうがいいと思います。英語で映画でも音楽でも楽しむ、そこから英語に興味をもつといい。

中学3年と高校2年のときにオーストラリアの

シドニーで語学留学し、ホームステイを経験しました。高2のとき、オーストラリアで出会った友人とは今でも交流が続いています。小さいときから英語は読み慣れていたのでも、長文も苦にならなかった。英語は自信があったので、受験のときには英語以外の科目を重点的に取り組み、大学入試センター試験では200点満点筆記の点数がとれました。今は英語にさらに磨きをかけ、大学で学んでいるスペイン語を生かして国際的に活躍したいです。